



第2593号

週報

11月6日.2024

高知東ロータリークラブ

本日 11月6日(水)12:30 ザクラウンパレス新阪急高知

ガバナー公式訪問例会

次週 11月13日(水)12:30 ザクラウンパレス新阪急高知
会員スピーチ

「私の履歴書・リターンズ」

福岡満喜子 会員

第2639回 例会報告／令和6年10月16日 天候 晴

◇ロータリーソング

「歓迎の歌」

◇会長挨拶



皆さん、こんにちは。
竹山道雄という元第一高等学校の教授が昭和22年から23年にかけて実業之日本社の雑誌に「ビルマの豎琴」という小説を書きました。

昭和20年8月15日、敗戦の後、南方から引き上げてくる兵隊は、みなやつれて敗残兵の姿で帰ってきたが、その中で、一つ元気な部隊があった。その部隊は隊長が音楽学校の出身で、ビルマの戦線で活躍しており、戦いが無いときは、みんなを集めて村民たちと一緒に歌を歌っていた。

昭和20年の夏のある日、一緒に歌っていたビルマ人たちが少しずついなくなり、おかしいことに気づいて見ると、イギリス軍に囲まれていた。隊長は、すぐに戦闘態勢に入ろうとするが、突然歌をやめるとイギリス軍に気づかれる。そこで、敵を油断させるために「埴生の宿」を歌いながら戦闘態勢を取らせていると、イギリス軍は日本軍に戦意がないと判断し、英語で「埴生の宿」を歌い始めた。そこで、両軍は戦わないまま、小隊は日本軍が3日前に降伏をしていたことを知らされ、降伏して収容所に送られる。

ただ、山奥の三角山では、降伏を潔しとし

ない日本軍が戦闘を続けており、小隊の中で楽才に優れ、ビルマの豎琴の演奏もできた水島上等兵を降伏説得の使者として三角山に送るが、三角山の日本兵は玉砕する。しかし、水上上等兵は生き延びて、戦友の亡骸を弔うため僧となっていた。本隊が復員する前日、青年僧が隊の前に姿を現す。青年僧が水島上等兵だと察した隊長は、何とか彼も日本に連れて帰ろうとするが、青年僧は別れの豎琴を弾きビルマに残る。

これは、音楽が人の命を救ったという物語です。ロータリーも発足間もないころ、親睦か奉仕かで意見が分かれて険悪になったとき、歌を歌い仲良くしていこうとしたということ思い出します。

なお、竹山道雄の弟子は平川祐弘さんと東京大学教養学部教授の芳賀徹さんで、平川祐弘さんはドイツ語、フランス語、英語、イタリア語に精通しており、特にイタリアの三大文学と言われるボッカチオの「デカメロン」、ダンテの「神曲」、マンゾニーの「いいなづけ」を翻訳しています。特にダンテの神曲講義は770ページにわたり非常に分かりやすく、神曲を解説していますので、皆さんも、よければ読んでほしいと思います。

本日の卓話は、警察本部の大崎さんです。よろしくお願ひします。

◇ロータリー情報委員会



11月5日(火)大神宮にて第1回の研修会を開催します。今年初めての試みとして、情報委員会の計画の一つであるアドバイザーの選任と、新入会員に対するアドバイザーのサポートをする大きな役割があります。今回は、それを重点において、入会5年未満の方と新入会員、アドバイザーの皆さんにさらに親しくなりたいと考えています。まだ、出席の返事をしていない方もよろしくお願ひします。

◇親睦委員会より



先週の創立記念夜間例会へのご参加、ありがとうございました。12月の忘年夜間例会でも皆さんを巻き込む企画を考えますので、ご協力よろしく

お願ひします。

11月17日、野外レクレーションとして土佐山のオーベルジュのキャンプ場を予約していますので、遊歩道の散策、川遊び、入浴などを楽しんでいただき、料理は私が手づくりで用意します。バスないしジャンボタクシーを準備しますので、多くの参加をよろしくお願ひします。

◇会長報告

- 第16回米山功労クラブの感謝状が届いています。
- 3カ年のアクションプラン計画のアクションプランチャンピオンに、理事会で竹村会員を決定しました。

◇幹事報告

- 来週、10月23日はガバナー補佐訪問例会です。出席をお願いします。
- 本日例会終了後、役員会を行います。
- 犯罪被害者週間講演会の案内を掲示しています。

◇ゲストスピーチ

高知県警察本部警備部警備第1課外事情報担当 課長補佐 大崎 大平氏

「国際テロ情勢と対策」



高知県警察本部 警備部 警備第一課 におきまして国際テロ対策等を担当しております。本日は「国際テロ情勢と対策」というテーマで、テロに関する情勢や警察としての取組をご紹介します、ご説明させていただきます。

まずはじめに、テロを取り巻く国内外における情勢につきましてご説明いたします。世界各地におきましては、規模の大小を問わず、テロが断続的に発生しております。

今年発生した主なものを列挙しますと、3月には、ロシアのモスクワ郊外のコンサートホールが銃を持ったテロリストに襲撃され、140人以上が犠牲となっております。

また、オリンピックで盛り上がりを見せた

フランスにおきまして、オリンピックを狙ったテロを計画・準備していたとして、現地の警察によって容疑者の男が逮捕されております。

このほか、8月には、ドイツにおきまして、刃物を持った男が混雑していた祭り会場の参加者を無差別に襲撃し、3人が死亡、複数人が負傷するという事件が発生しました。

また、本年7月には、アメリカのトランプ前大統領が演説中に銃撃され、9月にも銃撃しようとしたとして男が逮捕される事件が発生しました。

一方、国内におきまして、一昨年7月、奈良市内において安倍元総理が銃撃される事件が、昨年4月には和歌山市内において岸田

総理にむけて爆発物が投げられる事件が発生いたしました。

こうした中、来年は大阪において「大阪・関西万博」の開幕を控えており、4月13日から10月13日までの期間中、国内外から3,000万人近い来場者が見込まれております。

警察としましては、テロ等重大事案を未然に防止するため、関係機関や民間事業者の方々等とも協力しながら各種対策を推進しております。

それではテロ防止に向けた取組についてご説明します。

警察では、関係各機関や各事業者の方々とは連携・協力しながら、テロ防止に向けた取組を推進しており、空港や海港におきましては、出入国在留管理局や税関、また施設管理者の方々とは連携し、また、沿岸にある各警察署管内には漁業関係者や宿泊施設、公共交通機関関係者などからなる「沿岸協力会」が組織され、同会とも協力しながら、テロリストの潜入や密入国の防止に向けた警戒、不審船・不審人物の発見等に向けた広報活動を行っています。

次に爆発物の原料となり得る化学物質を販売する事業者の方々との連携です。警察では、爆発物の原料となり得る化学物質を販売する薬局やホームセンター等に対し、販売時の身分確認や使用目的の確認を徹底していただいたり、不審な購入者への対処要領を説明したり、不審な情報の提供をお願いしております。

また、化学物質を保管する学校に対しましても、盗難・紛失防止のための保管管理の徹底をお願いするなどしております。

このほかテロリストに悪用されないよう、ホテルや旅館、レンタカーやインターネットカフェなどの事業者の皆様方とも連携の上、顧客に対する本人確認の徹底を働きかけるなどしております。また、空港や駅、港などの公共交通機関や各事業者の方と連携の上、不審者対応訓練、テロ対応訓練を実施しております。

以上、現在、高知県警察が取り組んでいる

テロ対策について紹介させていただきました。テロ等の重大事案を未然防止するには、不審な動向を一早く察知し、これに対応する必要があるためには関係機関、関係事業者、地域の方々の情報提供やご協力が不可欠です。

最後に、テロに関連して、「サイバー攻撃対策の推進」について、ご説明をいたします。情報通信技術の著しい発展は、社会に様々な便益をもたらす一方、重要インフラの基幹システムに対する電子的な攻撃などの技術の悪用は、インフラ機能の維持やサービスの供給を困難とするなど、国民の生活や社会経済活動に重大な被害をもたらすおそれがあります。

サイバー攻撃は、以前に比べ、高度化・潜在化しており、その被害は甚大化しております。

傾向としまして、以前は、ウェブサイトの改ざんや閲覧障害など、主に企業が外向けにしているサービスへの攻撃が多かったところ、最近では「ランサムウェア」に代表されます情報窃取やシステム障害など、情報系システムへの攻撃が多くなっており、手法も巧妙化しております。

一例として、『日頃から取引のある企業から見積書がメールで届いた1時間後に、再び同じ企業・同じメールアドレスから、「先ほど見積書を送りましたが、こちらが正しいものです」といったメールが届き、添付ファイルを開けたところ感染してしまった』ということがあります。悪意のある者が、送付元の企業のサーバーに侵入し、見積書に関する真正メールを把握・悪用し、あたかも訂正に関するメールで、当然真正なものであると受信者を誤認させ、添付ファイルを開けさせるように仕向けたものですが、こうした手法をとられた場合、被害を防ぐのは困難であると思われる。

この例のように、自社のセキュリティが完全であったとしても、取引先が被害にあった場合は、被害が自社にも及ぶ可能性があるほか、近年は生成AIの悪用などもあり、不審かどうかを判断すること自体困難な場合も多くなっています。

こうしたことを踏まえ、現在は、被害の発生を防止することに加え、被害を減らすとい

うことも重要視されてきております。一例として、被害に遭った場合に、いかに早く通常業務ができるようにするかということで、「データのバックアップ」ということもあります。

サイバー攻撃に対する対策としまして、警察では攻撃者を検挙するという事は当然ながら、被害に関する情報を収集し、その手法などを分析・共有するなどして、「同種被害

の未然防止」ということにも取り組んでおりますので、サイバー攻撃に関する被害等を見聞きしましたら、警察に連絡をお願いします。

以上、テロ対策に係る県警察の取組を紹介させていただきました。今後とも、各種警察業務へのご理解とご協力のほど、よろしく願いいたします。



- ・佐野博三 本日の卓話「国際テロ情勢と対策」について、県警本部の大崎さん、ありがとうございました。私も昔、警察に在職していましたが、暴力団係でしたので、上品なところではありませんでした。
- ・西森良文 先週の創立記念夜間例会、SAAの皆さまはじめ大変お世話になりました。本日の卓話、大崎様、貴重なお話ありがとうございました。
- ・西村美香 森田委員長、先週の創立記念夜間例会では楽しい企画ありがとうございました。違いの分かる一流ロータリアンになれました。

家でも夫と子どもに高級イチゴジャム試してみたいと思います。

- ・猿田隆夫 創立記念夜間例会でのワインの格付けランキングで、まぐれで優勝させていただきました。沢山ワインを飲んだかいがありました。
- ・須賀昌彦 家族記念日、記念品ありがとうございました。
- ・中西克行 家庭記念日（結婚記念日）お祝いありがとうございます。
- ・前田 博 結婚記念日ありがとうございます。
- ・ザ クラウンパレス新阪急高知 いつもありがとうございます。

◇遅刻 1件

■高知東RC当面の日程

- 11月17日(日) 野外レクレーション実施予定
- 11月20日(水) 東酔会開催予定
- 11月27日(水) 役員会
- 12月4日(水) 五大奉仕中間発表・年次総会
定例理事会

- 12月18日(水) 忘年夜間例会
(ザ クラウンパレス)
役員会(例会前)
- 12月25日(水) 休会(年末年始の休み)

● ニコニコ箱 ●

	ニコニコ (チビニコ含む)
先週まで	326,925円
10月16日	14,250円
今期の累計	341,175円

● 出席率報告 ●

	総数	出席	欠席	メイクアップ	HC出席率	出席率
10月16日	⁻⁸ 54	35	9	2	64.81%	80.43%
10月2日	⁻⁷ 54	37	0	10	68.52%	100%

- 会長／佐野博三 ●幹事／中越貴宣 ●雑誌会報委員／西山正純・増田伝郎・有田憲一
- 例会日／毎週水曜日12:30PM～1:30PM ●例会場／ザ クラウンパレス新阪急高知 (088)873-1111
- 事務所／高知放送南館8階 〒780-0870 高知市本町3-3-39 直通 (088)824-8660
- ホームページアドレス(PC・携帯共通) <http://www.kochi-east-rc.com>
- メールアドレス 事務局／hccr@coffee.ocn.ne.jp 広報IT委員会／info@kochi-east-rc.com